



ブラジル

リオデジャネイロ

2014年9月～2018年9月滞在
(2020年記)

子どもの年齢 5歳～9歳

基本情報

気温	リオは亜熱帯地域で1・2月が最も暑く(40度以上もしばしば)、雨も多い 全般的に言えば年間を通じて温暖 年間平均気温は23°C
緊急電話	警察190 救急車192 消防193
電圧	110Vと220Vがある プラグはAとC プラグと変圧器の両方が必要
水	飲料水としては適していない 飲料用には浄水器や宅配サービスを利用する家庭が多い

買い物

日本の物	基本的に入手困難 日系(MerceariaFuji・Aomori Mercado Oriental Copacabana Rio de Janeiro)や中華系(Mercearia Mei Jo・Casa Vitana)のスーパーにて多少の日用品は手に入るが、価格は高い サンパウロにダイソーがある(値段は日本の2～3倍)ので、出張・旅行時に入手可 リオには「Miniso」という名の、ダイソーに似た中国発の雑貨店がある
食料品	日本食やゴボウ、シソ、薄切り肉などは上記スーパーでの購入になるが、一般的な食料品は地域のスーパーや朝市で入手可 朝市の野菜・果物が新鮮でよい 刺身用の魚は、日系のスーパー(高価)もしくは魚市場で入手可能
日用雑貨	Lojas Americanas、Multi Coisasといったチェーン雑貨店で入手可能だが、高価もしくは低品質なものが多いため、出来る限り日本から持参した方がよい セントロエリアにあるSAARA(商店街)は、品揃えも多く商品も安価だが、治安面で注意が必要なので、最初は慣れた人に連れて行ってもらうのがよい
学用品	アメリカンスクール・日本人学校共に、事前に学校に問い合わせる限り日本から持参した方がよい 特に日本人学校に通う予定であれば、漢字・計算ノートや質の良い文房具など、入手不可のものが多いので、準備が必要 アメリカンスクールで必要なのは、リュック、リコーダーなど
衣類	入手可能だが、高価もしくは低品質 日本から持参した方がよい 水着や靴(運動靴や長靴)も日本製がよい 真冬の衣類は、リオでは不要だが、アルゼンチンなど周辺国への旅行を考えている場合は、持参した方

	<p>がよい</p> <p>浴衣や日本代表のユニフォーム T シャツを持参すると、学校のイベント(インターナショナルデーや日本祭り)などで役立つ</p>
--	--

交通

公共交通	<p>タクシー・Uber・メトロ</p> <p>黄色タクシーが一番安全と言われている</p> <p>メトロはあまり推奨されない</p> <p>バスの利用は会社で禁止されている場合が多い</p>
運転免許	<p>有効な日本の免許を保有している場合は、手続きをすれば学科試験免除でブラジル免許に切替可</p> <p>適性検査・心理テスト・技能試験を受ける必要がある</p> <p>在リオデジャネイロ領事館サイトにて詳細を確認できる</p> <p>https://www.rio.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/menkyo.html</p> <p>女性の運転は強盗被害に遭いやすいと言われており、お勧めしない</p>

住居

住宅事情	<p>守衛がいるアパートが安全で一般的</p> <p>下層階は蚊が入りやすいので、上層階を勧める</p> <p>家具付き、家具無しアパートがある</p>
日本人が多く住むエリア	<p>イパネマ地区・レブロン地区(民間企業)</p> <p>ポタフォゴ地区・フラメンゴ・コパカバーナ地区(日本人学校・領事館)</p>
使用人	<p>週1~2日、9時ごろ~15時ごろの間での、通いのお手伝いさんが一般的</p> <p>前任者から引き継ぎ、日本人家庭同士で、曜日替わりでシェアしている場合が多い</p> <p>金品を盗まれるなどのトラブルを避けるため、日本人家庭に長く勤めているお手伝いさんを紹介してもらうのが安心</p> <p>子供の扱いに慣れているお手伝いさんが多いので、安心して預けて外出ができる</p>
治安セキュリティ	<p>治安は悪いが、宝飾品を身に着けず、華やかな服装や夜間の徒歩での外出を避け、犯罪多発地域に近寄らないようにすれば、トラブルには巻き込まれない</p> <p>iPhone やカメラを路上で出してはいけない</p>

教育

通った学校	Escola Americana do Rio de Janeiro (EARJ)
通った学校の詳細	<p>https://www.earj.com.br/</p> <p>Gavea キャンパスと、新しくできた Barra da Tijuca (Barra) キャンパスがあるが、Barra キャンパスは日本人居住エリアからかなり離れているため、ほぼ全家族が Gavea キャンパスに通う</p> <p>ホームページの大きく綺麗な校舎は、Barra キャンパス</p> <p>木が生い茂っているグラウンドの写真が Gavea キャンパス</p> <p>Gavea は年少(3歳)~高3(18歳)まで。生徒数約800人</p> <p>ブラジル人家庭が約半数、残りの半数は様々な国からの駐在員家庭</p>

	<p>日本人家庭は約20 補習校はない Middle school からは勉強量が増えると聞いたが、Lowerschool は大変のんびりしている 先生方もとても大らかで、転入生を温かく迎えてくれる</p>
塾 家庭教師	<p>公文があり、国語はあるが、その他の教科はポルトガル語での出題(算数・英語・ポルトガル語) 英語の E-Pencil(公文式英語専用リスニング機器)はない 日系塾はない 通信教育やオンラインでの家庭学習が一般的 放課後アルバイト的に英語を教えているアメリカンスクールの先生もいるので、学校に問い合わせ可</p>
習い事	<p>サッカークラブ(サンジェルマン)やスポーツクラブ(フラメンゴ・フルミネンセ)があり、体操・水泳・サッカー・テニスなど多くのスポーツが選択可能 ビーチバレーやビーチサッカーなど、リオならではの習い事も人気がある ただし、どの習い事も本格的ではないので、しっかりと運動技術を身に着けたいお子さんには物足りない アメリカンスクールでは放課後、チアリーディングやレゴワークショップ、ギター、カポエラなどのアクティビティに参加できる 大人の習い事としては、ビーチテニスやビーチバレーの他、絵付けやサンバ、ヨガレッスンなどが人気 日本人相手に、長年ポルトガル語を教えている家庭教師もいる</p>
アドバイス	<p>屋外で安心して子供を遊ばせることができる公園などが少ないので、放課後はアメリカンスクールの生徒の多くがスポーツクラブで習い事をしています。レッスン後は閉館時間まで施設が使用可なので、プールや館内の公園で自由に、安心して遊ばせることができます。親子共に友達の輪が広がり、待ち時間に色々な方と情報交換もできるので、積極的な参加をお勧めします。 公文については、日本から数年分のワークシートを持参し、日本の先生とやり取りを続けている家庭もあります。</p>

病院

医療事情	<p>Copa D' Or 病院は英語可で、救急対応がある 窓口での一時支払いが高額なので、クレジットカード要持参 内科・歯科などは、居住地域の日本人や外国人から、近くのかかりつけ医の情報を得るのがよい 眼科はあるが、子供の眼鏡は日本から持参し、一時帰国時に買い替えている家庭が多い</p>
日本人医師	<p>日系人医師はいるが、英語可のブラジル人医師にかかる家庭が多い</p>
薬品	<p>頭痛薬や風邪薬など、一般的な市販薬は入手可能だが、アレルギーなどの常備薬がある場合は、医師に相談して多めに持参するのがよい 蚊が多い(場所によってブヨも)ので、蚊用、ブヨ用の虫よけが必要 現地でも入手可能だが、高価 また、皮膚が弱いなど外国製が不安な場合は日本から持参するとよい 1~2月の日差しは強烈なので、親子共にサングラスや日焼け止めが必要</p>

交流

日本人	領事館・日本人学校・日系協会・アメリカンスクールなどの行事に参加すると、幅広く交流できる
------------	--

現地の人	子供の学校や習い事、住んでいるアパートで知り合う機会が多い
駐在外国人	上記同様、習い事や子供の学校で幅広く交流できる他、外国人のためのアクティビティグループ(Rio playgroup)や、アメリカンスクール(EARJ)では Newcomer をお世話してくれるグループ(EARJ Newcomer Connections)などがあるので、Facebook、SNSなどで検索・参加するとよい

伝えたいこと

行事などに参加して知り合いを作ると、良い情報を多く得られます。最近(2020年)、リオ在住者(主に日本人学校・アメリカンスクール保護者)間で、大人数参加のLINEグループができ、情報交換に役立っているとのことですので、渡航後関係者にお聞きください。外国人とのやり取りは(アメリカンスクールのクラス連絡を含め)、LINEではなく、「WhatsApp」を利用します。

アメリカンスクールに通うブラジル人保護者は英語が通じますが、街中では英語が通じません。「Google translate」のポルトガル語⇄英語翻訳は比較的精度が高いので、役立ちます。(ポルトガル語⇄日本語は、まだ精度がかなり低いです。)

アマゾン、パタゴニア地方やガラパゴス諸島、ウユニ塩湖やマチュピチュなど、南米の大自然を満喫できる旅行先も多くあります。1年を通して楽しいイベントが多くありますし、カーニバル時期やワールドカップ時などは、街中がお祭り騒ぎで大変盛り上がりします。

渡航前は治安や言葉などの面で不安やストレスを感じるかもしれませんが、ブラジル人は明るくて優しく、特に子供には、自分の子供の様に愛情たっぷりに接してくれます。また、ビーチも近く開放的な雰囲気が溢れているので、生活に慣れるとブラジルが大好きになる方が多いです。日本人駐在家庭の皆さんも、とても協力的で、お互い助け合いながら良い関係を築いていらっしゃる方ばかりという印象です。

あまり心配をし過ぎず、困った時には遠慮せずに周囲に助けを求め、慣れるまでの期間を無理せず前向きに乗り切ってください。

楽しい思い出でいっぱい駐在生活となりますよう、お祈りしております。